

三重県立伊賀白鳳高等学校

ヒューマンサービス科(伊賀市)



福祉の心を忘れずに地域と一体感のある防犯！

地域との絆を大切にした活動

1 活動地域

私たちの学校がある伊賀市は、2004（平成16）年11月1日に上野市・伊賀町・島ヶ原村・阿山町・大山田村・青山町の6市町村が合併し、誕生しました。伊賀市の中心地にそびえる伊賀上野城は、高さ30メートルに及び日本有数の高さを誇る石垣を有し、外観の白く美しい城郭から「白鳳城」とも呼ばれており、学校名の由来になっています。城下町には、歴史を感じる街並みが広がり、伝統ある老舗から新しいお店まで街歩きを楽しめるスポットがたくさんあります。また、全国的に忍者の里として知られており、2017（平成29）年には「忍者市」を宣言しています。

2 団体の概要

私たちの学校は、2009（平成21）年4月に開校した三重県で初めての総合専門高校です。工業科・農業科・商業科・福祉科の4分野、7学科を設置しています。生徒が夢を探し、育み、実現できるよう、特色ある教育システムを取り入れており、卒業後は各分野のスペシャリストとして伊賀地域で活躍しています。

私たちは、ヒューマンサービス科（福祉科）に所属し、主に介護や保育について勉強してい

ます。ヒューマンサービス科では、地域との絆を大切にしており、高齢者施設や小学校、保育園等と連携しながら学びを深めています。その中で、伊賀警察署の警察官の方にもご協力をいただき、年に1回、小学生に対して防犯教室を実施しています。

また、ヒューマンサービス科が主管するボランティア部では、高齢者の居場所作り等を目的としたふれあい・いきいきサロン「ひまわりの会」を運営しています。

3 活動内容

(1) 警察と連携した防犯教室の開講

2014（平成26）年から毎年、地元小学校に赴き、「いかのおすし」をテーマに、自分の身を守る方法を小学生に伝えています。教室には、伊賀警察署の警察官の方にも来ていただき、「おまわりさんからのお話」もしてもらっています。教室を受講した小学生からは、「わかりやすかった。いかのおすしを忘れないようにする。」等の声が聞かれます。

(2) ふれあい・いきいきサロンの運営

伊賀市社会福祉協議会の助成を受けながら、ボランティア部の活動として月に1回、運営しています。参加者は1人暮らしの高齢者の方です。季節に合った工作や手芸を一緒にしながら、コミュニケーションを図り、楽しい時間を過ごしてもらえるようにしています。そのコミュニケーションの中で、詐欺の被害に遭うことがないように、最近の詐欺の手口を紹介したり、対応方法を伝えたりしています。

(3) 情報発信

私たちの活動を多くの人に知っていただくため、SNS等を活用し、活動内容を発信しています。



ーヒューマンサービス科
Instagram
興味のある方はぜひご覧ください

IGAAHAKUHO_HUMAN

4 活動頻度

防犯教室は年に1回

ふれあい・いきいきサロンは月に1回

5 課題

防犯教室は現在、1つの小学校でのみ実施していますが、せっかく作成した教材のため、もっと多くの小学校で実施できればよいと思います。しかし、時間の確保や移動手段等の関係で複数の小学校での実施が難しい状況にあります。

6 課題の解決に向けた取組方策

コロナ禍の際に、実際に小学校に出向くことが難しかった時期がありました。その時は、活動をなしにするのではなく、動画を撮影し、DVDにして実施しました。今後は、さまざまな方法を模索して、活動の範囲を広げることができるとよいと考えています。